

参 加 要 領

大会参加費

会 員	2,000円
一 般	3,000円
学 生	1,000円

申し込み期日

第一期 2023年5月1日（月）～6月30日（金）
 第二期 7月1日（土）～7月31日（月）
 ※8月1日以降（第二期を過ぎてから）の申し込みは、申し込みフォームや郵送ではなく、当日申し込みしてください。

申込書記入について

申込書に、分科会、実技講座などの必要事項をご記入下さい。
 実技講座は定員になり次第締め切らせていただきます。

昼食について

各自ご用意ください。

大会内容についての お問い合わせ

手労研事務局
 〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1-33
 千葉大学教育学部 生活科 鈴木隆司研究室
 TEL 043-290-2580
 e-mail t-suzuki@faculty.chiba-u.jp

キ リ ト リ

第49回全国大会参加申込書

氏名	フリガナ		参加区分 (該当するものに○をつける)			申し込み日		
			会員	一般	学生	月 日 (一期・二期)		
連絡先	【住所】(〒 -)							
	【TEL】 (自宅・携帯・職場)		【E-mail】					
参加希望分科会 希望の分科会1つに○をつける	第1 「遊び・生活・育ち」	第2「ものづくり・ 工作、生活科・総合」	第3 「特別支援教育」	第4 「地域」				
参加希望実技講座 希望の講座1つに○をつける	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
参加費	備考 円							

参加申し込み方法

1. 申込書の内容をホームページの第49回大会申し込みフォームに打ち込み、送信してください。
 ホームページを利用されない方は、申込書にご記入の上、中村源哉宛に郵送してください。
 (手労研事務局では申し込み受付はしていません)
2. 実技講座は先着順で受け付けます。定員に達したためご希望に添えない場合は、連絡いたします。
 (連絡は第一期に申し込まれた場合に限りです。
 それ以降は、当日お伝えします。)
3. 下記銀行口座に参加費をお振込みください。
4. 振込みが確認された後、受付票を送付します。
 大会直前に申し込みフォームや郵送で申し込まれた場合は、行き違いになることを避けるため、
 受付票は大会事務局に留置します。
 該当の方は当日、受付にお申し出ください。
5. お一人の方が何人かまとめて振込みをされる場合は振り込まれる方の申し込みフォームメモ欄、申込書の方は備考欄に全員の氏名をご記入ください。
6. キャンセルの場合は下記、大会事務局の中村源哉までご連絡ください。参加費の返金はできませんが、大会要綱をお送りします。予めご了承ください。

申し込み先

- ホームページ <https://terouken.jp> (手労研)
- 郵送 大会事務局 中村 源哉 (なかむらげんや)
 〒195-0073 東京都町田市薬師台1-25-29
 TEL 090-9689-8280

※不在の場合は留守番電話にお名前、ご用件を入れてください。

振込先

振込先 横浜銀行 鶴川西支店
 普通口座 6090450
 名 義 ナカムラ ゲンヤ

会場：成蹊小学校までのアクセス



JR中央線
 吉祥寺駅下車
 吉祥寺駅北口バス
 乗り場1・2番より
 関東バスで5分
 成蹊学園前下車

吉祥寺駅北口より
 徒歩約15分

子どもの遊びと手の労働研究 第49回 全国大会のご案内

大会テーマ
 遊びやものづくりでひとの輪を広げよう

2023年 8月6日 (日)



会場

成蹊小学校

〒180-8633 東京都武蔵野市吉祥寺北町3-3-1

大会時程

9:00	9:30	10:30	12:30	13:30	15:00	16:00
受付	全体会 基調報告	分科会	昼食 備会	実技講座	閉会集会 教材紹介	

手労研とは…<https://terouken.jp>(手労研で検索！)
 1973年に発足した市民団体です。子どもの遊び、手仕事や
 ものづくりを子どもの生活をベースにしなが、幼児から
 青年まで数多くの実践と研究を重ねてきました。
 発足50周年、会報は600号を超えます。
 代表委員 土井康作(鳥取大学名誉教授)
 事務局長 鈴木隆司(千葉大学教育学部教授)



全 体 会

9:30～10:30

基調報告 「現代の教育諸課題をみすえて手労研の次なる峰を展望する」 常任委員会(報告者:土井康作)

アフターコロナの時代を迎えた今日、子どもの豊かな発達を保障するために、令和の日本型学校教育やギガスクール構想の実施などに関わる教育諸課題を子どもの遊びや手の労働の視点から再考するとともに、発足して50年を迎える手労研が次なる峰に向けどう歩みだすか検討します。

土井 康作プロフィール：子どもの遊びと手の労働研究会代表委員・一般社団法人ものづくり文化振興協会理事長・鳥取大学名誉教授



「基調報告」について
基調報告では、手労研が会として目指すものや今後の活動の方向性、基本的な考え方について、これまで議論してきた成果をもとに報告します。

分 科 会

10:30～12:30

■第1分科会 あそび・生活・育ち 「今、そしてこれからの子どもの遊びと生活は...」

コロナ禍を経て、以前とは保育・教育の内容や形態が大きく変貌を遂げました。新たな課題や問題も見えてきましたが、改めて大事にすべきことを考え合い、子どもたちの日常、生活、遊びについて語り合しましょう。

■第2分科会 ものづくり・工作、生活科・総合 「アフターコロナの中、本物の実践の追求を！」

新しいアフターコロナのフェーズの中、本物の生活科・総合学習、そして真の子どもの学びとなるものづくりや工作教育の実践について検討します。子どもの姿が見える実践記録の書き方や子どもの評価についても考えます。

■第3分科会 特別支援教育 「『手作り』の特別支援教育」

「手作り」と聞いて思い浮かべるものは何ですか？教育において、必要な教材づくりの方法？それとも教える内容を話し合って決めていく集まりの様子？参加の皆さんのこだわりをぜひ、披露しあっていきましょう。

■第4分科会 地域 「くらす・つくる・つながる」

学校PTA活動や応援団として、また、学童保育や児童館だけでない多様な形態で、子どもから大人までを対象にした地域でのものづくり活動がたくさんあります。活動を交流して、「これなら、私でもできる」を見つけましょう。

総 会

12:30～13:30

1年に1回の総会です。明日の手労研を考える大切な会です。会員の皆様は昼食をご持参のうえ、ご参加ください。

閉会集会・教材紹介 15:00～16:00

閉会集会

大会を振り返り、分科会の報告、実技講座作品の紹介をします。
全国の支部、サークルも紹介します。

教材紹介

作って遊んで、お土産をたくさん持ち帰りませんか？みんなで盛り上がりましょう。
教材の販売もあります。

実技講座

13:30～15:00

各講座は、いずれも手労研で培ってきた魅力的なものです。どれか一つに参加できます。

□

の中の人数は定員です。

定員になり次第、締め切らせていただきます。お早めにお申し込みください。

※道具は特に必要ありません。

①ガッチャマンゴマ	10人	②紙ストローで作る紙トンボ	15人	③1本歯の下駄を作る	10人	④6面絵合わせパズル	10人
笠 間 玉 緒 東京支部		中 村 源 哉 東京支部		青 山 秀 継 愛知支部		東 森 茂 美 大阪支部	
 ガッチャマンごま(教材ブックレット第32集)は、回すと羽が飛び出し自動的に引っ込む、とても不思議な工作です。		 回転軸に紙のストローを使います。軸がしっかり安定します。短い時間でよく飛ぶ紙トンボを仕上げましょう。		 一本歯のゲタを作ります。かっこいいてんぐちゃんゲタにのって、秋に子どもたちに見せびらかそう。 小学校低学年向き		 好きな絵柄6枚を、9つの立方体の6面に貼り合わせて、パズルにします。1面だけだと、パズルの完成は比較的簡単ですが、6面は根気がいるので、面白いものになるでしょう。	
⑤絆の証 ミサンガ	12人	⑥羽子板の羽根作り	12人	⑦わらで作る鍋敷き	10人	⑧くるくる巻いて動物人形	15人
鈴 木 まゆ子 千葉支部		有 附 祥 吾 兵庫支部		松 本 達 郎 岡山支部		奥 村 登志美 豊中サークル	
 2色の毛糸をねじってより合わせていく、友だちと作るミサンガです。学校生活の色々な場面で活かせます。		 実際に山から拾ってきたムクロジという木の実を使い、羽子板の羽根を作ります。		 ワラの細い縄で鍋敷きを作ります。縄は既製品を使うので作る必要はなく、同じことの繰り返しでできます。		 クラフトテープをくるくる巻いて動物人形を作ります。	